

令和6年度 学校教育自己診断 結果

2学期末に生徒・保護者・教職員を対象に「学校教育自己診断」を行いました。その集計結果等をお知らせします。

【生徒回答】

回答数 543

	診 断 内 容	R6肯定的回答	前年比	R5	R4
1	学校へ行くのが楽しい。	84%	—	85%	81%
2	少人数の授業や、関心のある選択授業がある。	93%	—	94%	92%
3	授業内容に興味・関心をもつことができている。	89%	—	91%	88%
4	学校生活についての先生の指導は適切である。	90%	—	91%	84%
5	先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。	88%	↑	85%	85%
6	先生は、いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	95%	↑	91%	89%
7	授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	97%	—	98%	91%
8	授業の内容や目的によってICT機器を効果的に活用している。	93%	↓	98%	93%
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	94%	—	94%	84%
10	将来の進路や生き方について考える機会がある。	96%	—	96%	91%
11	進路実現に向けて、進学や就職など適切な指導が行われている。	96%	—	96%	92%
12	この学校には、他の学校にない特色がある。	100%	—	99%	99%
13	体育祭、文化祭などの学校行事は楽しく充実している。	94%	↑	91%	86%
14	部活動や生徒会活動が盛んである。	94%	—	96%	91%
15	高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。	94%	—	93%	91%
16	担任の先生以外にも保健室やカウンセリング室等で、相談することができる先生がいる。	86%	—	84%	80%
17	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動すべきか指導されている。	94%	↑	88%	78%
18	学校の施設や設備については満足している。	90%	—	90%	86%
19	地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。	82%	↓	85%	73%
20	海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。	88%	—	86%	61%

※前年比2%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

昨年度の肯定的回答がかなり高かったので、今年度は微増微減が多く、昨年度並みの評価が得られたとの見方をしている。

「5 先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。」については、担任の先生方の丁寧な対応や教職員全体の密な情報共有の成果と判断できる。「6 先生は、いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」は、学期ごとのアンケートや、日頃の生徒指導、教育相談に関する評価と判断したい。「13 体育祭、文化祭などの学校行事は楽しく充実している。」も徐々に高回答を得てきているが、熱中症対策などの実施方法が定着し安定してきたと分析できる。「17 学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動すべきか指導されている。」では、年2回の例年実施している避難訓練が、生徒の防災意識を高め、安心して学校生活を送れていると信じたい。

一方、マイナス評価になったのは、「8 授業の内容や目的によってICT機器を効果的に活用している。」と、「19 地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。」である。8については、ICT機器の活用は、少しずつ定着しつつあるが、ほとんど活用していない教員もいることは事実である。次年度以降、公開授業週間の実施やICTに関する職員研修の充実を図り、授業力向上に努めていきたい。「19 地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。」については、昨年度以上の頻度で連携活動が行われたと思われるが、多くの生徒がかかわっていないのでこのような結果になったと分析できる。より多くの生徒をかかわらせ、成果を実感できる機会をつくっていきたい。

今年度は、40周年関連行事もあり、イベントや心に残る行事も多くあった。生徒の高校生活を有意義にし、意欲的にした結果としてこのような数字になったと分析される。

	診 断 内 容	R6肯定的回答	前年比	R5	R4
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	87%	—	85%	89%
2	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	81%	↓	85%	86%
3	この学校には、他の学校にない特色がある。	100%	—	100%	99%
4	学校での友達関係はうまくいっている。	92%	—	91%	95%
5	学校は、教育情報について、情報提供の努力をしている。	92%	—	92%	88%
6	学校の生徒指導の方針に共感できる。	88%	—	87%	89%
7	先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。	85%	↑	77%	90%
8	学校は、授業の内容や目的によってICT機器を効果的に活用している。	84%	↓	87%	91%
9	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	87%	↑	84%	95%
10	個人の悩みや、抱えるものについて、適切にアドバイスし、対応してくれる先生がいる。	85%	—	86%	90%
11	学校は、子どもに生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を養おうとしている。	90%	—	88%	96%
12	将来の進路や生き方について考える機会がある。	93%	↓	98%	90%
13	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	90%	—	89%	92%
14	体育祭や文化祭などの学校行事は、活発に行われている。	97%	—	95%	93%
15	子どもは、高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。	91%	—	89%	89%
16	地域(住之江区)や大学等との交流は盛んである。	75%	↓	81%	79%
17	学校は、海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。	90%	↑	86%	68%
18	学校の施設や設備については満足している。	91%	—	91%	93%
19	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	81%	↑	78%	88%
20	子どもをこの学校に入学させて良かった。	97%	—	96%	97%

※前年比2%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

昨年度の回答数は、55件とかなり苦戦したが、今年度は「さくら連絡網」を利用し、多くの方に回答をいただいた。(74%)

前年と比べアップが4項目、ダウンも4項目という結果となった。残りの12項目が現状維持となる。特に増減のあった項目を挙げ、その要因を考えたい。「7 子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。」は4%のダウン。「8 学校は、授業の内容や目的によってICT機器を効果的に活用している。」は3%のダウン。「12 将来の進路や生き方について考える機会がある。」は5%のダウンである。「16 地域(住之江区)や大学等との交流は盛んである。」に至っては6%のダウン。7・8については、授業力の向上、教職員の意識の向上に努めていきたい。12、16については、これ以上機会を増やせないところまで自助努力をしているところなので、連絡網ツールや学校HP等を通じて、保護者への確実な情報提供の方法をさらに工夫し、学校行事を知っていただく努力をしたいと考える。

逆にアップした項目として「7 先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。」8%、「9 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」3%、「17 学校は、海外の美術作品を鑑賞したり、他の国との美術に関する交流をしたりする機会がある。」4%、「19 この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」3%が挙げられる。7、9については、教育相談の体制が認められていると確認できる結果となった。17、19については、行事復活後、盛んになってきているイベント等をさらに発展充実させていきたいと考えている。

保護者への情報提供をより確実なものにするとともに、保護者ニーズに応じていく学校をめざし、さらに改善を進めていきたいと思う。

	診 断 内 容	R5肯定的回答	前年比	R5	R4
1	学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	87%	↑	75%	94%
2	生徒に対して、わかりやすく興味・関心を引く授業を行っている。	98%	—	97%	100%
3	補習や講習等を通じて、学力向上(実技力向上)に努めている。	89%	—	90%	94%
4	内容や目的に合わせて、ICT(情報機器等)を教育活動の中で活用している。	89%	↑	76%	89%
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	85%	↑	69%	78%
6	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	93%	↑	90%	89%
7	学校全体として、生徒・保護者の相談に適切に対応している。	96%	↑	90%	100%
8	生徒の個人情報を守る管理システムが確立できている。	87%	↑	69%	94%
9	体育祭、文化祭、修学旅行などの学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう工夫・改善を行っている。	91%	—	93%	89%
10	部活動を通じて、生徒が学校生活において充実感が得られる工夫がある。	89%	↑	90%	78%
11	国際感覚を養う国際交流について学ぶ機会を多く設定している。	93%	↑	79%	33%
12	教育活動の中で、平和、社会のルール、人権の尊重、生命の大切さなどについて学ぶ態度を育てている。	93%	↑	79%	61%
13	生徒一人ひとりの進路希望に応じて、きめ細かい指導を行っている。	89%	↓	93%	83%
14	教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員等とも相談することができる。	98%	↑	90%	94%
15	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており迅速に対応することができる。	96%	↑	86%	83%
16	緊急の事故、事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう、危機管理体制ができています。	87%	↑	68%	72%
17	施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。	74%	↑	55%	83%
18	この学校には、他の学校にない特色がある。	100%	—	100%	100%
19	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者への周知に努めている。	96%	↑	76%	94%
20	高大連携、地域との交流の機会が教育活動に生かされている。	87%	↓	90%	89%

※前年比2%は、増減なしとみなし、—で表しております。

分析

回答率100%となり、肯定的な回答も断然多くなってきた。

教職員の結果と生徒・保護者の結果で逆転現象が起こっているものを紹介する。「4 内容や目的に合わせて、ICT(情報機器等)を教育活動の中で活用している。」については、13%上昇しているのだが、生徒・保護者の回答は、生徒が3%ダウン、保護者が7%ダウンとなっている。授業見学で見ていると明らかにICT機器の活用率は上昇しているにもかかわらず、見方の違いによってこれだけの差が出てくることで結果の信憑性に疑問を感じるどころである。さらに「20 高大連携、地域との交流の機会が教育活動に生かされている。」の項目は、生徒の「19 地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。」や保護者の「16 地域(住之江区)や大学等との交流は盛んである。」という似通った項目がいずれも、昨年より下がっており、生徒・保護者はおろか教職員にも伝わっていなかったかという情報提供不足が露呈した結果になってしまった。

そして、17については、肯定率は上がったとはいえ、いちばん低く表れていた。40年が過ぎ、施設・設備の劣化が進行していることは確かであるが、生徒・教職員の安全を確保するため、学期に1回の安全点検の実施や日常の点検管理をどのように進めていくか学校安全委員会を中心に対応を考えたい。また、府庁には早急に修理、改修をお願いしていきたい。